

**順位表** 9/23現在  
 基本 29試合消化時点

勝点、得失点差、得点、失点、  
 岐阜戦の戦績（岐阜から視て）

注：＊印は消化試合が数字分少ない

1	大宮	69p	+35	53	18	A●
2	今治	53p	+15	45	30	A○
3	富山	52p	+18	39	21	H△
4	北九州	45p	+4	27	23	H● A●
5	沼津	44p	+9	45	36	H● A●
6	相模原	43p	+6	30	24	A△ H●
1*7	福島	42p	+11	42	31	H○
8	松本	42p	+7	43	36	A○ H●
9	FC大阪	41p	+6	30	24	A△
10	金沢	41p	0	43	43	A△
11	琉球	40p	-4	37	41	H△
12	八戸	39p	+1	32	31	H● A●
13	鳥取	37p	-11	35	46	A○ H●
14	岐阜	33p	-6	40	46	---
1*15	讃岐	31p	-3	32	35	H○ A●
16	長野	31p	-9	38	47	A●
17	宮崎	29p	-11	32	43	H● A○
18	奈良	28p	-13	36	49	A● H△
19	YS横浜	28p	-18	25	43	A○ H○
20	岩手	18p	-37	19	56	H○

**次回HomeGame**

第32節 vs.長野パルセイロ

10/11 (金) 19:00【金曜夜です】

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

**大酒場 ホームラン**

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）  
 年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より  
 「おかえりなさい」が似合う  
 アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
 JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
 休:月曜日

今日もここから  
 串かつで一杯

煮込み珍道中  
 串かつ

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

※売り切れ次第、終了です

<定休日:日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580

忠節橋  
 通り

JR 岐阜駅  
 北口より  
 北西方面へ  
 徒歩約 10分

★

アミカ

ドミ  
 イン

JR  
 岐阜駅

通算対戦成績	全12試合 (J2:10試合、J3:1試合、天皇杯:1試合) 岐阜3勝 / 金沢6勝 / 3分け Jリーグ岐阜ホーム戦:1勝0分4敗			
直近の対戦結果	2024/04/28 <b>金沢 0-0 岐阜</b> J3-11節@ゴースタ			
ここ 3試合の 公式戦の 結果	岐阜	2024/09/21 J3-29節@ミクスタ 北九州 2-0 岐阜	金沢	2024/09/22 J3-29節@ゴースタ 金沢 0-1 富山
		2024/09/14 J3-28節@長良川 岐阜 1-2 相模原		2024/09/14 J3-28節@ゴースタ 金沢 1-3 讃岐
		2024/09/08 J3-27節@ピカスタ 讃岐 4-0 岐阜		2024/09/07 J3-27節@ニッパツ YS横浜 2-2 金沢

● J3 リーグ 2024 シーズンの後半戦、再び不調に陥る FC 岐阜。9/14 (土) 第 28 節・ホーム相模原戦は、前半 36 分に #9 イ・ヨンジェの今季初ゴールで先制するが、直後に同点にされて前半を折り返す。後半は積極的に仕掛ける岐阜だったが追加点を奪えず、逆に後半終盤に決勝点を奪われ、1-2 で逆転負け。続く 9/21 (土) 第 29 節・アウェイ北九州戦は、試合開始早々に CK で失点、その後も相手に圧倒される。前半の終盤と後半の序盤には岐阜が押し込む展開となるが、ポストに弾かれるなど得点を奪うことができない。すると相手の FK で PK を与えてしまい、2 失点目。試合終盤の 2 本目の PK は #50 GK 後藤大輝が防いだが、2-0 で敗戦。これで岐阜は 4 連敗、第 22 節から 3 連敗し、第 25 節の YS 横浜戦での勝利を挟んで 4 連敗という、悲惨な結果となった。

この 2 試合で 2 連敗した結果、岐阜の順位は 13 位から 14 位 (暫定) へとさらに低下。6 位 (= プレーオフ出場圏)・相模原 (暫定) との勝点差は 10 と、大きく開いてしまった。シーズン後半戦の岐阜は、これまで 2 勝 1 分 8 敗 10 得点 18 失点。YS 横浜戦の勝利 (5-1) を除けば、1 試合あたり 0.6 得点 1.9 失点。これでは勝てるはずがない。チーム戦術を変更しつつあるが、もっと根本的に見直すべきではないだろうか。そして 2024 シーズンの J3、残り試合は今節を入れて 9 試合。残念ながら、もうプレーオフ圏内に入ることは現実的な目標ではない。逆に、19 位・YS 横浜との勝点差が 5 と、2 試合で逆転されてしまう差に縮まってしまった。先日、2025 シーズンのクラブライセンス判定結果が公表され、現在の JFL で 4 位の Honda を除いて、1 位~7 位の 6 チームに J3 ライセンスが交付された。したがって、J3 の 20 位は J 会員資格喪失 (JFL 降格)、19 位は JFL 2 位との入れ替え戦になる可能性が非常に高い。過去の傾向では『残留ライン=試合数の勝点』と言われており、その観点からすれば、岐阜は残り 9 試合で勝点 5 以上を積み上げなければ、残留争いで生き残れない。他の下位チームも、これまで以上に必死に戦うだろう。我々も他人事ではないと自覚するべきだ。チーム・スタッフ・スポンサーやサポーター、FC 岐阜に関わるすべての人たちが気持ちを一つにして、あらためて真摯に、そして必死に目の前の 1 試合を戦って、勝利をそして勝点 3 を掴み取らなくてはならない。

さて、今節の対戦相手はツエーゲン金沢だ。2015 年からの 9 シーズンは J2 だったが、今季から J3 に。そして今季から伊藤彰氏が新監督に就任し、1 年での J2 復帰を目指している。チームは開幕 3 連敗したものの、徐々に順位を上げてゆき、リーグ前半戦を 4 位で折り返す。その後もプレーオフ圏内を維持していたものの、直近 5 試合では 2 分 3 敗 5 得点 9 失点と急速、現在は 10 位とプレーオフ圏内から脱落してしまった。今節は相当な覚悟で試合に臨んでくるだろう。だが先述のように、我々も相当な覚悟をして戦わなければならないはずだ。金沢との Jリーグでの過去の対戦は、0-0 で引き分けたアウェイ戦・4/28 (日) 第 11 節の前では 2019 年・J2 時代に遡る。その J2 での通算対戦成績は、岐阜の 2 勝 2 分 6 敗 8 得点 14 失点と負け越しているが、それは 5 年前のこと。今節はしっかりと気を引き締めて、難敵・金沢に勝利したい。

金沢の要注意選手には、現在 8 得点の #6 梶浦勇輝、FC 東京から育成型期限付き移籍している 20 歳の MF を挙げる。また、双子の #15 西谷優希 (兄) と #24 西谷和希 (弟) のコンビにも警戒が必要だろう。だがしかし、我々岐阜サポーターが最も意識すべきなのは、やはり 8/21 (水) に岐阜から金沢に完全移籍した #71 田口裕也だろう。移籍後の 5 試合にスタメン出場しているが、まだ金沢でゴールを挙げていない。今節も、絶対に田口に活躍させる訳にはいかない。一方の岐阜は、主力の #8 荒木大吾が累積警告で出場停止なのが不安材料。天野監督の新たな選手起用と、その起用に伝える選手たちの活躍に期待したい。再び暗く長いトンネルに入ってしまった岐阜。僕らサポーターの拍手と声援で、下を向いて消極的になりがちな選手たちを鼓舞し、時には叱咤激励して前を向かせ、積極的なプレーに導くことが必要だ。岐阜の勝利を信じて最後まで選手たちの背中を後押ししよう。今節こそ "HYPER CHANT" の歌声を、ホーム・長良川に響かせよう。(ささたく)

投稿募集 !! [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第28節】岐阜 1-2 相模原

●正直ここで勝ち点3どころか1すら得ることができなかったのは非常に痛い。

プレーにミスは付きもの、シュートを上手く弾けなかったことよりも、あの位置から思い切って打ってきた相手選手を褒めるしかない。

残り10試合、もっともっと危機感持ってやらないと、本当に足を掬われることになるよ。こんなもんじゃないでしょこのチームの力って。意地を見せてくれ！（岐阜の誇り）

●1勝を挟んで5連敗中の岐阜と、1引分を挟んで4連敗中の相模原。ここで勝たないと……と互いに思っていただろう大事な試合。さてスタメンは……と、守備時に5バックで攻撃時に3バック（4バックかな？）の可変システム！？讃岐戦で4点獲られたりして守備の再構築に（遅まきながら）着手したという点は評価できると思う。だけど、守備に人数かけてる分、攻撃は手薄になる訳で。そうでなくても手数と時間ばかりかかって、相手に守備ブロックを作らせる余裕を与えてるので、今までと同じようなサイド攻撃、後ろで回して前線にボールが届かないのでは、得点の匂いが一層なくなって……。前半36分のFKで#99イ・ヨンジェの今季初ゴールが決まったのは良かったけれど、その直後にGKとDF陣の連携ミスもあり、すぐ同点にされて……。 （溜息）。ただし、その前にも何度もDFの裏を狙われてピンチになってたし、ボールの出し所をケアしないと5バックの意味が薄れると思う。結局、前半は5バックに慣れていないからか、初めて“クリーニングブレイク”を見るぐらい暑かったから省エネしてたのか、相模原の優勢でHTに。

後半になると徐々に岐阜が攻勢をかけるけれど、最後の精度が足りず、ゴールを奪うまでには至らない。すると試合終盤、決勝点を挙げようと前に重心を掛けていた場面で相模原のロングカウンター。岐阜の選手たちも必死に戻ったけれど足が止まってしまい、相手に狙い澄ました強烈なミドルを撃たせる時間を与えてしまう。それをGK#41中山開帆がファンブルするミスもダメだけれど、DFラインに相手の選手が数名フリー気味に入っていて、下手にシュートを弾くと詰められる危険性もあり、#41中山だけの責任じゃないと僕は思った。その後に猛攻をかけるけれど、やはり決められない。というか、最初からその気迫で攻撃してほしいものです……。 （溜息）。結局、1-2の逆転負け。惜しいシーンも多少あったけれど、不調に苦しんでた相模原にも勝てないぐらい、うちの方が不調ということで。讃岐戦の次の試合だったから、まだマシだった（苦笑）とも言えるけれど、どことなら勝てるのか、そんなネガティブな想いに捕らわれてしまいます。（ささたく）

●ピカスタ惨敗からの今月最初のホームは『デー・ゲーム』。9月のこの時季にデーゲーム？昨今の気候を考えていただけたら幸いです、と書いておこう。

スタメンを見て、どんな風に並ぶんだ？と考えて、もしかしたら？と思ったら、ホントにやったよ>5バック。機能してたかはわからんが、それなりにやれてたように見えた流れから、ついにヨンジェがゴールを決めた！と喜んだのも束の間。2分後にセナーに決められて。でも、同点で後半に入って、このままなら勝ち点1はイケるな……というところで決定機を外してしまったのが痛かったような気がする。とはいえ、それで、集中が切れたワケじゃなからうが、かといって、アノ失点はねえ……。バイタル前がガラ空きなのに、スペースを埋める選手もボールホルダーに寄せる選手もいないのが、なんともかんと。バテてたのかなあ？そこまでの苦勞が水の泡。せつかくのゲーム・プランも結果も台無しになってしまったね。観てる自分も、さすがにチカラ抜けた感あった。幸い、岩手も負けてくれたから勝ち点差16は変わらず。来月の直接対決で勝ち点差を縮められなきゃ残留できると思う、思いたい……。え？19位は入れ替え戦の可能性あり、だと……？

まあ、川辺町のブースで売ってた【栗ご飯】が美味しかったから、とりあえず、溜飲は下げておこうか。これからしばらくは時季だけれども、食べられる時に食べとかなないと、気がついたら……ってなりそうなんですね。ご馳走さまでした。（ぐん）

●おっと、重心を後ろにした3バック（5バック？）ですか。基本的に後ろに人数がいるから「後ろからつないで行く」これまでのサッカーが活きる……はず。FKからヨンジェ、岐阜での1初ゴールが生まれた。彼はタツパはあるけど足元タイプ（西川優大みたいな）なんだろうね。時間はかかったけど（苦笑）よかったよかった。でも、相模原には「J2やJ3ではゴール量産するけど活躍を買われてJ1に行くとからっきし」な印象の『下部リーグ番長』せぬ〜（瀬沼）がいる。サクッと追いつかれてしまい、あーこれはイカンと思ったよ。

でも、なぜか後半開始からせぬ〜がいない。これでかなりやりやすくなって互角の展開に持ちこめた……と思ったんだけどね。カイホが正面からのシュートをキャッチに行って後ろにこぼしてしまい、これが決勝点。最後はホントに怒涛の攻めを見せたけれどね、いじわるバーさんがいじわるをしてくれたりで試合終了。

もはや目標はJ2昇格ではなくJ3残留。翌日の試合で宮崎が勝ったので、28節の暫定終了で残留ラインまで勝ち点6差だ。「あってないようなモン」ではないけど「あってないようなモンだと思ってもいいようなモン」でしょう。

もうひとつ気になるのが、試合後の囲み取材？で天野暫定監督が「この戦術は対相模原を想定してのもの」と言ったこと。あれ、北九州戦や金沢戦ではまた4バックに戻すかも知れないのか。もう、ホントに「わけがわからないよ」。（吉田铸造）

## 【第29節】北九州 2-0 岐阜

●この試合も5バックを採用。それは良いんだけど、試合序盤から北九州のフィジカルに押されてしまう岐阜。前半5分にCKで失点。んで、相手がファーにも構えてるのに、ニアばかり固めてるのは何故……。 （溜息）。その後も、相手の積極的な仕掛け、前からのプレス、複数名で走り込んで来る迫力、力強いパスやシュートに、後手後手に回る岐阜。ただ、どうやらその迫力は序盤から北九州の選手たちが過剰なブーストをかけてたようで、前半途中から足の具合を気にする選手たちが出てくる。すると前半の終わりには岐阜のペースになったんだけど、相手GKの負傷退場で時間を与えてしまったことでペースが戻されて前半が終了。後半は、北九州の勢いが弱まって岐阜が攻勢をかける。あの時間帯の#2岡崎慎と#38新垣貴之のシュートが、いずれもポストに嫌われなければ、その後の試合展開も変わっていたかもしれない。だけど、その後は肝心なところで消極的なプレーが散見されて、攻撃に迫力が出てこない。もっとシンプルに、前線の選手にボールを差し込むべきだと思うんだけど、左右にボールを回すもんだから相手は守りやすかったんじゃないかな？それで息を吹き返した北九州に再び押し込まれ、FKがPA内の壁の#19松本歩夢の腕に当たってPK献上……。1失点目もそうなんだけど、ウチはセットプレーの守備練習してないのかしら（溜息）。攻守のチグハグさは解消されず、後半ATのGK#50後藤大輝のPKストップが最後の見せ場。

0-2での敗戦、試合後に#50後藤が独り悔し泣きしていたのが印象的だった。僕は2失点とも#50ゴッツの責任ではないと思うんだけど、その責任感全選手が見習うべきだと思う。負け続けてしまっただけで負の悪循環に陥っているチームを立て直すのは、もちろん戦術面も大事だけれど、個々の選手たちの責任感や、消極的プレーに陥らないような強い気持ちなんじゃないだろうか。（ささたく）

●終了の笛が鳴った時にはどうやって迎えようか悩んでたけど、近寄ってくる選手たちを見てたら、思わず拍手してた。そうやって鼓舞していくしかない。そんな時期、状況になってるんじゃないかな？  
久しぶりのアウェイ現地観戦。共に3連敗だったみたいね。でも、キックオフから上位のギラQが【位攻め】。それを耐え切れずに失点。まあ、コレが敗因かな？  
ただ、その後のピンチをなんとか凌いだら、後半にビッグチャンス。でもね、そういう時に弾かれるんだよね、ポストとか。2本のうち1本……、でも、相手にも似たような場面はあったんでね。お互い様さ。  
でさ。なんで、あの場面でハンド？あからさまに肘が出ちゃってるよね。さすがにPK取られても止むなし。2回目のはアトランタを思い出したよ。そりゃあ、PKだよ（苦笑）正直、よくぞ、止めてくれました>ゴッツ。  
しかし、これでいよいよ徳俵が迫ってきた感じ。現在の順位もあるけど、今後の対戦上位、それもプレーオフ狙えるクラブが多いような？久々にシビれる雰囲気。もちろん、なんとか残留したいよね。頼んだよ！（ぐん、）

## 9/25 時点の JFL 順位表。 (基本：残り 9 試合)

9/22 の奈良 vs 宮崎が宮崎勝利とならなかったので、FC岐阜と自動残留ラインの勝ち点差が『5』に縮まりました。真剣にJ3残留争いに参戦です。クラブやチームに仰りたいことは多々あるでしょう。とはいえ、そこはJリーグに残ってこそ。「お叱りはあとで」ってヤツで行きましょう。もちろん、現状においても「上を視ないようなクサレに未来はない！」という認識をお持ちの方もいらっしゃるでしょう。尊重します。前向きな意識を持ち続ける強いココロ、大事にしてください。もっぺん整理しますが、今年JFLからJ3に昇格する条件は「2025のJ3ライセンス所持」「成績上位2位以内」「年間有料観客動員30,000人」の3つを満たす必要があります。9/24にJリーグから2025年のJ3ライセンスが発表になり、申請の全クラブが認可されました。それを踏まえて。

1	高知	48p	+20	
=====				
2	栃木C	40p	+15	*1
-----				
3	青森	33p	+9	
4	Honda	33p	+8	(2025 J3 ライセンスなし)
5	V大分	33p	+2	
6	滋賀	32p	+12	
7	三重	31p	+2	*1
8	浦安	30p	+3	(2025 J3 ライセンスなし)

(注：\*1は消化試合数が1少ない)

ぶっちぎっていたはずの高知が減速。ここ4試合で1勝2分1敗と勝ち点を伸ばせていません。必要な観客動員数は残りホーム4試合で6,700人弱なのでおそらく大丈夫でしょうけど、人数さえ揃えばJ3昇格！というわけにはいかなくなりました。一方、2位で追う栃木Cは10/2に台風延期分の三重戦、10/6に大一番の高知戦と「勝ち点6マッチ」を連続して控えています。ともにアウェー戦なので日程的にかなり厳しいですが、逆にここで連勝するとJFL優勝=J3自動昇格も見えてきます。  
3位以下は変わらず苦戦。3位浮上の青森ですが観客動員が伸びず、ホーム戦残り6試合で17,000人以上が必要。これは厳しい。5位のV大分はさらに厳しくて、ホーム戦残り4試合で13,500人が必要。青森もV大分も「既にJクラブがある県」にあるクラブなので行政や経済界のプッシュを得にくい、というのはあるでしょう。栃木Cはそのあたりはクラブの体

力でなんとか出来ているのだらうと思います。三重は上記の上位陣との対戦では高知戦とHonda戦以外を残しているし、滋賀も高知戦と栃木C戦以外を残しているの、とにかく直接対決でぶっ叩いて未来を切り拓くしかない。  
こんな状況なので、現時点では総合的に勘案して判断すると(←古い)、高知と栃木Cのワンツートの可能性が高く、そうなるとJ3最下位は自動降格、同19位はH&Aの入替戦となります(12/1がJFLホーム、12/7がJ3ホーム……青森が2位になったら、試合出来るのかな)。  
『岐大通』では、FC岐阜のJ3残留が決まるまで、JFL順位表を掲載していきます。(編集人：吉田铸造)